

Panasonic

インテグレートッド
CD・MD・DSP レシーバー

取扱説明書

品番

CQ-Y1680D



COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

Mini
Disc

保証書別添付

- このたびは、パナソニック カーオーディオをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用前に

安全にお使いいただくために.....	4
付属品の確認.....	9
リモコン(別売CA-RC55D).....	9
各部のなまえ.....	10

使いかた

共通の操作

電源を入れる.....	12
電源を切る.....	12
音量を調整する.....	12
音源(ソース)を選ぶ.....	13
時計を調整する.....	14
文字の表示を切り替える.....	15

ラジオを聴く.....	16
-------------	----

CDを聴く.....	18
------------	----

MDを聴く.....	20
------------	----

チェンジャー(別売)で CD/MDを聴く.....	22
------------------------------	----

必要なときに

サウンド・音場を設定する

サウンド設定の項目を選ぶ	25
●音楽や気分にあった音質を選ぶ (ヒューマンイコライザー)	26
●周波数ごとのレベル調整で音質を設定する (グラフィックイコライザー)	27
●前後左右の音量バランスを調整する	27
●乗車位置に合わせた音像にする	28
●低音の厚みを調整し、リヤスピーカーを サブウーファーとして活用する	28
●低音域を増強する	29
音場を再現する	29

その他の機能を設定する

設定する機能を選ぶ	30
●ボタン操作音の有無を選ぶ	31
●MDタイトル表示を スクロールする/しないを選ぶ	31
●スペアナ表示の動きの速さを選ぶ	31
●ディスプレイの明るさを選ぶ	32
●外部入力 (AUX IN) に 切り替わる/替わらないを選ぶ	32
●MUTE (ATT) ボタンの機能を選ぶ	33

便利な機能

スペアナ表示を切り替える	34
スペアナ表示をアレンジする	35
交通情報を受信する	36
一時的に音量を下げる	37
外部機器の音声を聴く	37
ブラックライトでパネルの色の变化を楽しむ	37

ディスクの取り扱いについて	38
ディスクの保管について	39
故障かな!?	40
配線のしかた	44
取り付けのしかた	46
仕様	48
アフターサービスについて	49

安全にお使いいただくために

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

運転者は走行中に操作をしない
また、画像・表示を注視しない



禁止

走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。
必ず安全な場所に停車させてから操作してください。

取り付け・アース配線等に、保安部品を絶対に使わない



禁止

保安部品（ステアリング・ブレーキ系統・タンクなど）のボルト・ナット・ビスを使用すると、事故の原因になります。
説明に従い、付属品や指定の部品を使用してください。

DC12V \ominus アース車で使用する



本機はDC12V \ominus アース車専用です。DC24V車（大型トラック、寒冷地仕様のディーゼル車など）には使用できません。火災や故障の原因になります。

配線・取り付け作業中は、
バッテリーの \ominus 端子を必ずはずす



バッテリーの \ominus 端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

警告

故障や異常のまま使用しない



禁止

万一、故障（画像が映らない・音が出ないなど）や異常（異物が入った・水がかかった・煙が出る・異臭がするなど）が起こった場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口（別紙）」にご相談ください。そのまま使用を続けると、事故や火災・感電の原因になります。

必ず規定容量のヒューズを使用する また、交換は専門技術者に依頼する



規定容量を超えるヒューズを使用すると、発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口（別紙）」にご依頼ください。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないよう引き回す



ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。

指定に従って設置・配線する



説明に従って正しく設置・配線しないと、事故や火災の原因になります。

分解・修理、および改造をしない



分解禁止

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのはやめてください。火災・感電、故障の原因になります。

電池は乳幼児の手の届かないところに保管する



事故の原因になります。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

エアバッグのカバー部分や作動の妨げになる場所に、絶対に取り付けない



禁止

エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、事故やけがの原因になります。

リモコンを放置しない



禁止

運転中に足下へ転がってブレーキペダルなどの下へ入り込むと、運転を妨げて交通事故の原因になります。

⚠ 注意

配線・取り付けは、専門技術者に 依頼する



配線・取り付けには専門技術と経験
が必要です。
安全のため、必ずお買い上げの販売
店に依頼してください。

必ず付属品や指定の部品を使用する



指定以外の部品を使用すると、
機器の内部を損傷したり、しっ
かり固定できずにはずれるな
ど、事故や故障、火災の原因に
なることがあります。

水のかかる場所、湿気や埃の多い 場所で使用しない



禁止

発煙・発火・感電・故障の原因に
なることがあります。
特に洗車や雨のときなどに、水が
かからないようにしてください。

機器内部に異物を入れない



禁止

内部に金属物や燃えやすいものなど
が入ると、ショートや絶縁不良で
発熱し、火災や感電、故障の原因に
なります。
特に乳幼児にご注意ください。

可動部やディスク挿入口に手・指 を入れない



禁止

手や指を挟まれるなど、けがの原因
になることがあります。
特に乳幼児にご注意ください。

コードを破損しない



禁止

断線やショートにより、感電や
火災の原因になることがあります。

- 車体やねじ・可動部（シート
レールなど）への挟み込みで
破損しないように引き回す。
- 傷つける、無理に引っ張る、折
り曲げる、ねじる、加工する、
熱器具へ近づける、重いものを
のせるなどしない。

本機の通風孔や放熱板をふさがない



禁止

内部に熱がこもり、火災や故障の
原因になることがあります。

適正な音量で使用する



車外や周囲の音が聴こえない状態
での運転は、事故の原因になること
があります。

特殊形状のCDやCDアクセサリ は使用しない



禁止

ハート型や八角形など特殊形状の
CDや、プロテクトフィルム・スタ
ビライザーなどのCDアクセサリ
を使用すると、故障の原因になり
ます。

シール・ラベル・テープなどを貼り 付けたCDは使用しない



禁止

本機の中で引っかかるなど、故障の
原因になることがあります。
特に市販のプリンターで作成したラ
ベルなどを貼り付けたCD-Rは使用
しないでください。

注意

電池は正しく扱う



破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚染する原因になることがあります。

- 指定の電池以外は使用しない。
- ⊕⊖を電池ケースの表示に合わせて入れる。
- 使いきった電池は、すぐに交換する。
- リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。
- 充電・分解・変形・加熱、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしない。
- 電池を廃棄、または保管するときは絶縁する。(ビニール袋に入れる、テープなどを巻く)
- 著しく温度が高くなる場所に電池や電池の入ったリモコンを放置しない。
(窓を閉めきった車や車のトランクの中、直射日光のあたるところ、ヒーターの近くなど)

電池を廃棄する場合は

- 地方自治体の条例などに従って処理してください。

使用上のお願い

他の機器と接続する場合は

- 接続した機器の取扱説明書もよくお読みになり、正しく配線してください。

携帯電話を使用する場合は

- 携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してご使用ください。

本機の取り扱いについて

車載用以外には使用しないでください

- 車載用以外（例えばレジャーボートやアウトドアなど）に使用すると、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

免責事項について

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記録内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 商品に添付の保証書は、当該商品を業務用の車両（バス・タクシー・商用車など）に使用する場合、適用対象になりません。

付属品の確認

1. 取扱説明書.....1
2. 取り付け用部品.....ねじ一式 (P.46 参照)
3. 電源コード.....1
4. 保証書.....1
5. お客様ご相談窓口一覧表.....1

リモコン (別売CA-RC55D)

電池の入れかた

1. 電池ケースを出す。

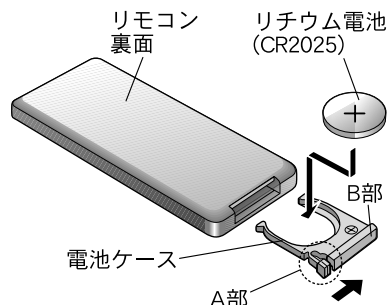
A部を矢印の方向に押しながら、B部を持って引っ張り出してください。

2. リチウム電池(CR2025)を電池ケースにのせる。

(+) (-) を間違えないように右図どおりにのせてください。

3. 電池ケースを入れる。

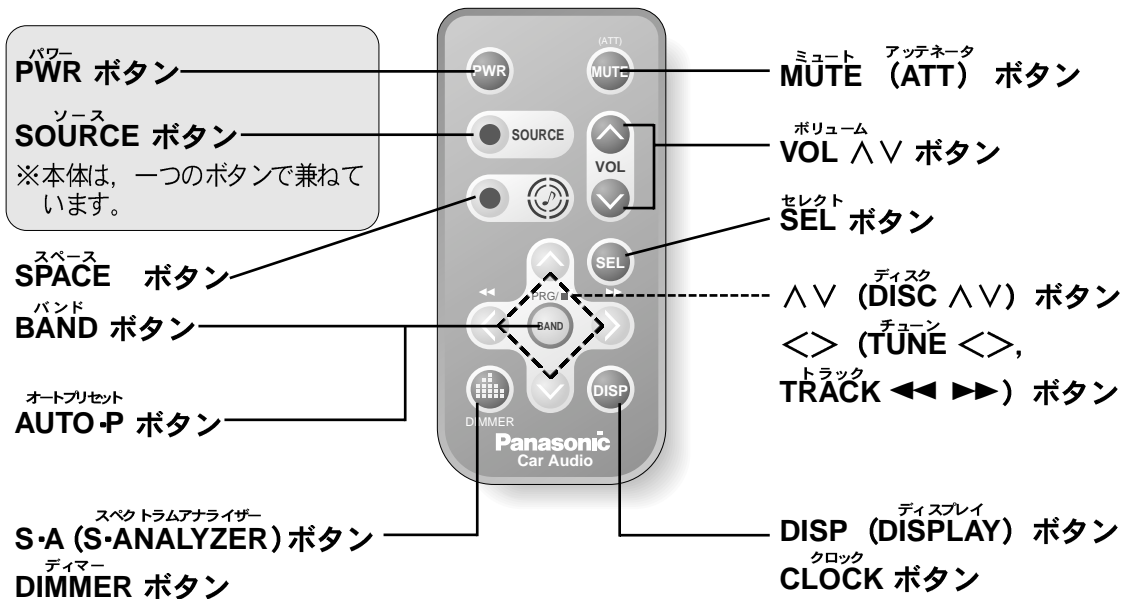
最後まできちんと入れてください。



使用する電池

- 使用電池 : パナソニック リチウム電池 (CR2025)
- 電池の寿命 : 通常の使用状態で約6ヶ月 (常温時)

※ 本体のREMOTE (リモコン受光部) に向けて、操作してください。(P.10 参照)
 操作は、本体のボタンで説明しています。リモコンと本体にはボタンの数や操作に相違がありますが、特にことわりのない限り同様に操作してください。

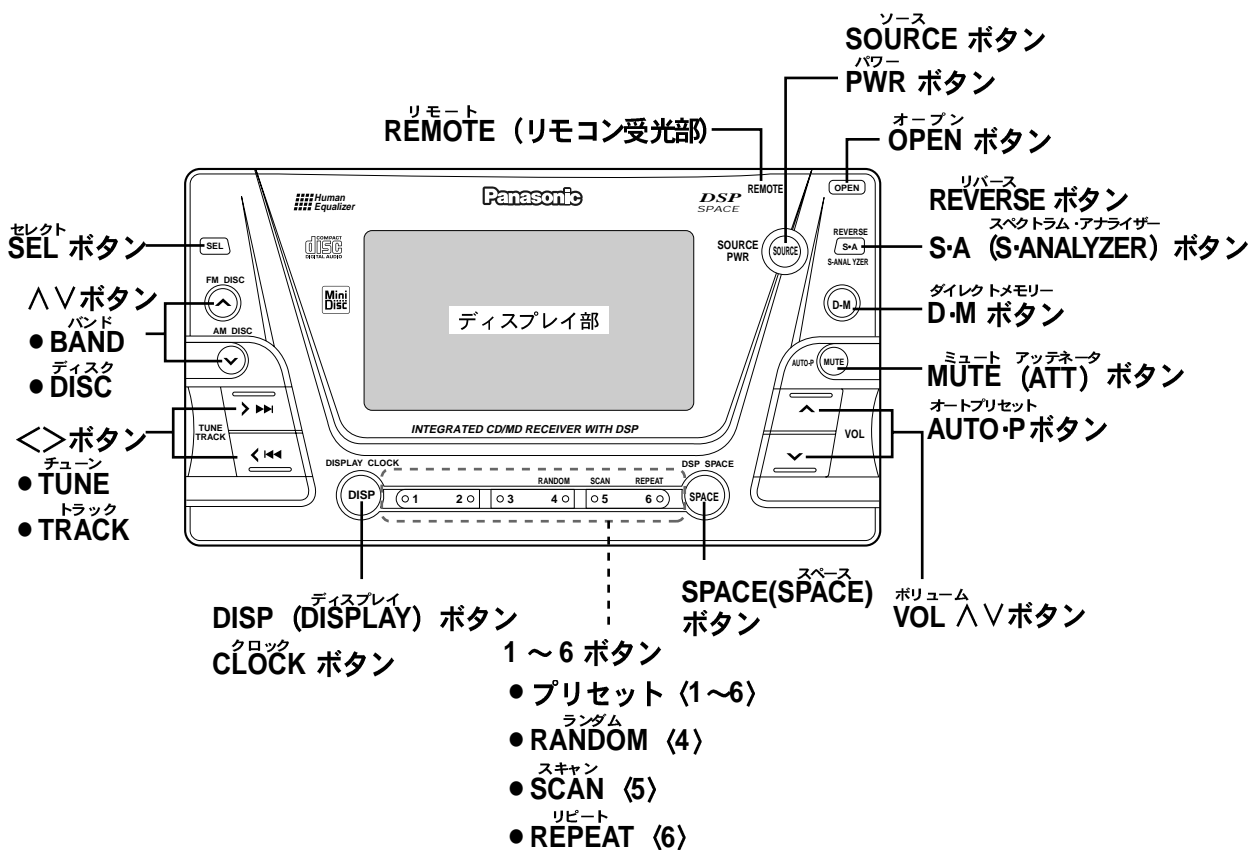


お知らせ

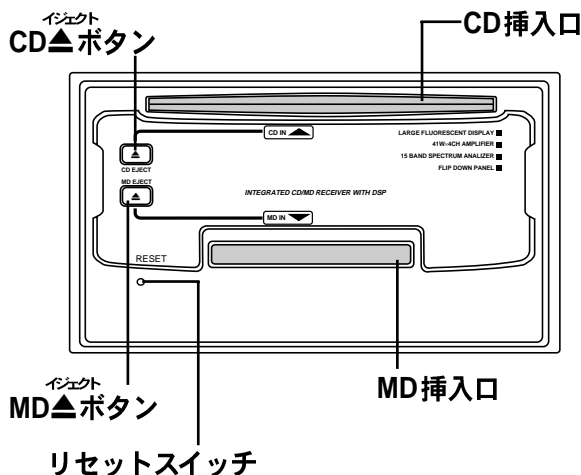
- リモコンは他の一部の機種にも使用できるように設計されており、本機に使用しない文字の印刷もあります。
- 次のボタンは、リモコンにはありません。本体で操作してください。
 OPEN ボタン, CD ▲ ボタン, MD ▲ ボタン, D・M ボタン, 1～6 ボタン,
 RANDOM ボタン, SCAN ボタン, REP (REPEAT) ボタン, REVERSE ボタン

各部のなまえ

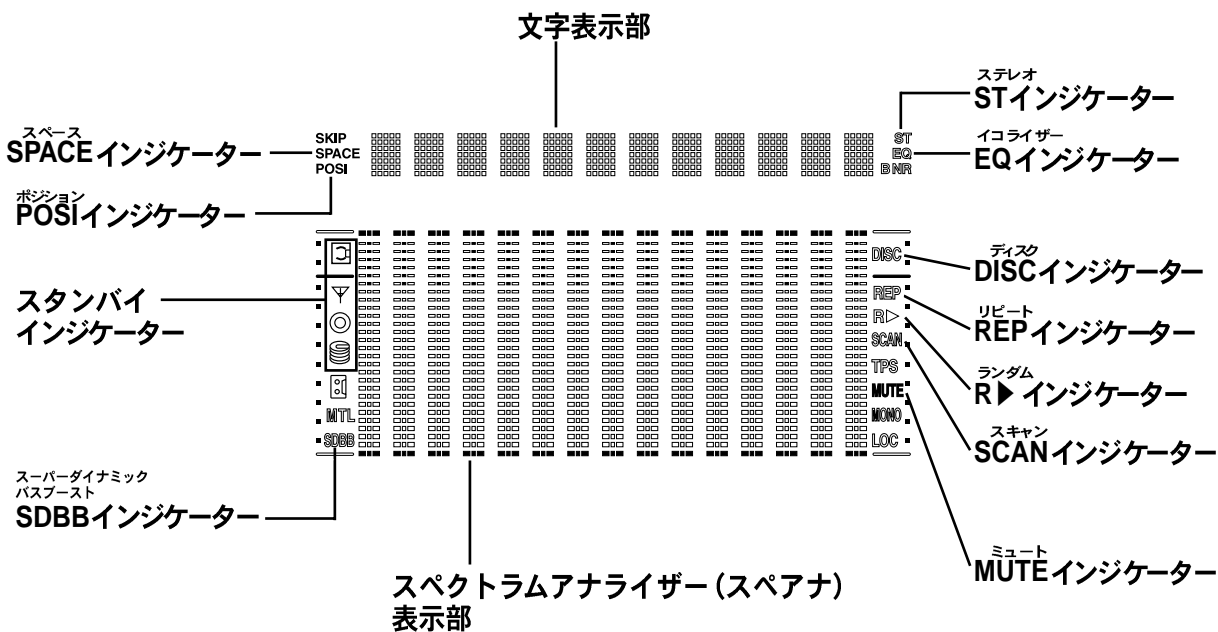
本体



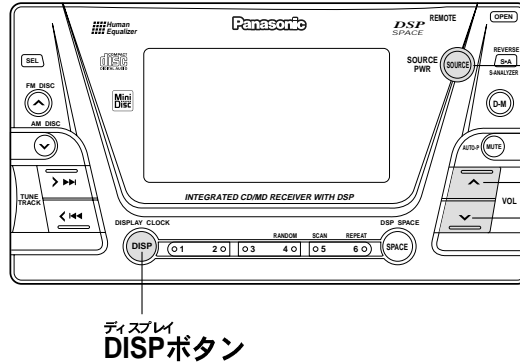
内部パネル部



ディスプレイ部



共通の操作



ソース、パワー SOURCE, PWR ボタン

ボリューム VOL ▲▼ ボタン

ディスプレイ DISP ボタン

はじめに、車のエンジンをかけてください。(「ACC ON」の位置でも可)

電源を入れる

PWR ボタンを押す。

電源を入れたとき、デモが表示されます。(デモモード)

デモモードのときは、ボタン操作ができません。

ご使用になる前に、デモモードを解除してください。→ DISP ボタンを押す

- 再度、デモモードを表示させたいときは
→ 一度電源を切ってから本体のPWRボタンを1秒以上押して電源を入れる



DISPLAY CLOCK



電源を切る

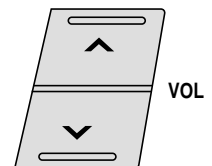
PWR ボタンを1秒以上押す。



1 秒以上押す

音量を調整する

VOL ▲▼ ボタンを押す。



お知らせ

音量はソースごとに記憶される (TUNERはFM/AM別に記憶される) ので、ソースを切り替えると音量も変わります。(インテリジェントボリューム機能)

警告



禁止

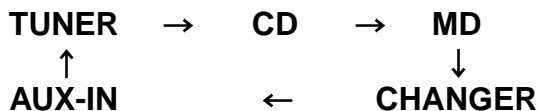
運転者は走行中に操作をしない
また、画像・表示を注視しない

走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。
必ず安全な場所に停車させてから操作してください。

音源(ソース)を選ぶ

SOURCE ボタンを押す。

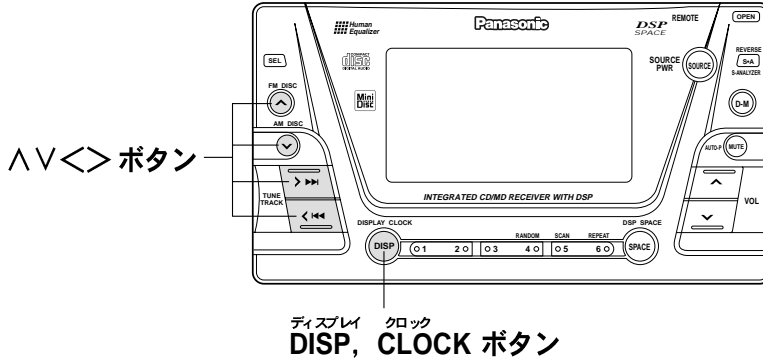
- 押すごとに、次のように切り替わります。



お知らせ

- ディスクが入っていない、チェンジャーが接続されていない、チェンジャーにマガジンが入っていないときは、そのソースに切り替わりません。
- 「AUX-IN」(外部入力)をご使用にならない場合には、切り替わらないように設定できます。(P.32 参照)

共通の操作 (つづき)



時計を調整する

- 時計は24時間表示です。

① CLOCK ボタンを2秒以上押して、時間調整モードにする。

- 時間表示が点滅します。
(初めて調整するときは、“0:00”の表示が点滅します。)



② AV<>ボタンで、調整する。

- < : 時間の調整になる。 ● 時間表示が点滅します。
- > : 分の調整になる。 ● 分表示が点滅します。
- ^ : 時/分が進む。
- v : 時/分が戻る。

③ CLOCK ボタンを押して、時刻を確定する。

- 通常モードに戻り、時計が動き始めます。

時計を表示するには…

DISP ボタンを押して、切り替える。(次ページ参照)

DISPLAY CLOCK

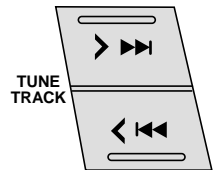


2秒以上押す

FM DISC



AM DISC



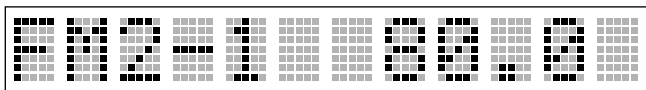
DISPLAY CLOCK



お知らせ

- 電源が切れているときは、調整できません。
- MDタイトルのスクロールを「OFF」にして表示しているときは、時計調整できません。
→MDタイトルが、一周だけスクロールします。(P.31 参照)

文字の表示を切り替える

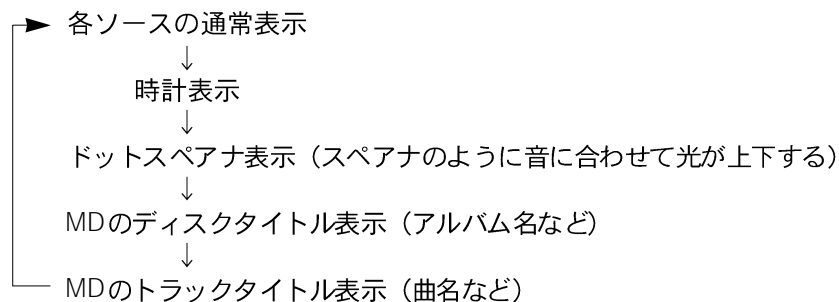


DISP ボタンを押す。

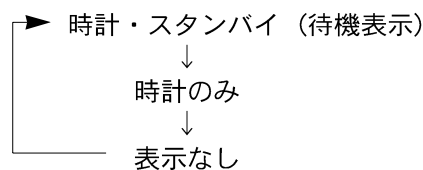
DISPLAY CLOCK

DISP

- 押すごとに、次のように切り替わります。



- 電源が切れているときにDISP ボタンを押すと、次のように切り替わります。



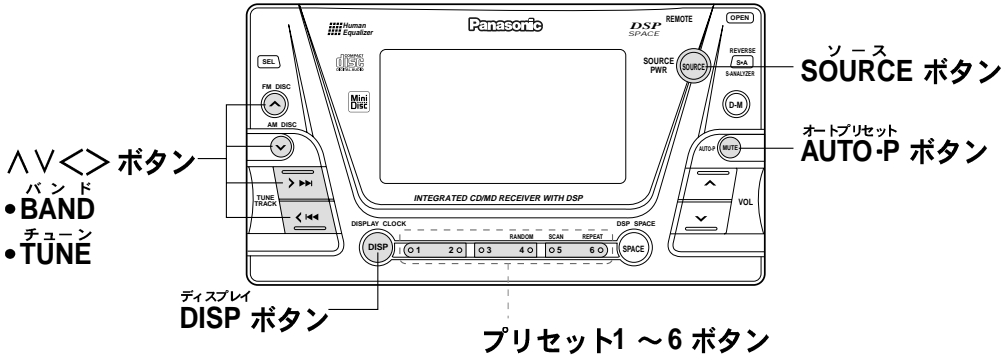
お知らせ

- 時計を調整していないときは、時計表示のときに“ADJUST”と表示されます。

MDタイトルについて

- ソースがMDまたはMDチェンジャーでないときは、タイトル表示に切り替わりません。
- 英数字・カタカナで表示します。(スクロール時の最大表示60文字)
- タイトル情報が記録されていないMDのときは、“NO TITLE”と表示されます。
- MDタイトルの表示は「スクロールする/しない」を設定できます。(P.31 参照)

ラジオを聴く



音源（ソース）を「TUNER」にする

SOURCE ボタンを押す。



バンドを選ぶ

△▽ボタンを押す。

△ (FM) : FMバンドが切り替わる。 FM1 ↔ FM2
 ▽ (AM) : AMバンドが切り替わる。 AM1 ↔ AM2



お知らせ

リモコンは、BAND ボタンを押す。 FM1 → FM2 → AM1 → AM2

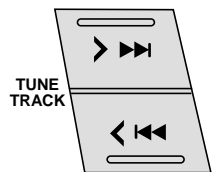
- FMステレオ放送を受信すると、STインジケータが点灯します。

放送局を選ぶ

手動選局（順送り）

<>ボタンを押す。

- < (TUNE <) : 周波数が下がる。
- > (TUNE >) : 周波数が上がる。

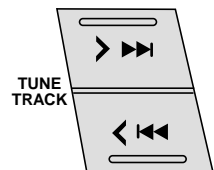


自動選局（シーク）

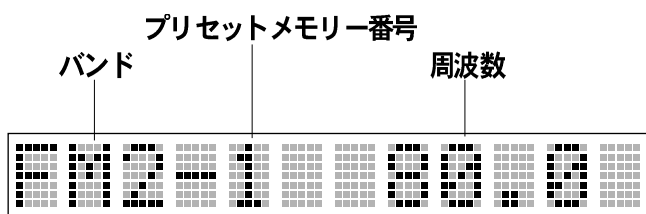
<>ボタンを0.5秒以上押し続けて離す。

- < (TUNE <) : 周波数が下り自動選局する。
- > (TUNE >) : 周波数が上り自動選局する。

- ボタンをはなした時点から探し始め、放送局があるところで止まります。



0.5 秒以上押し続けて離す



表示例) 通常表示

表示を切り替えるには
→ DISPを押す (P.15 参照)

放送局を記憶させる

手動メモリー (プリセットメモリー)

放送局を選び、
本体の **プリセット1 ~ 6 ボタン**の何れか一つを、**2 秒以上**押す。

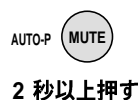
- 現在受信している放送局が、押したボタンにメモリーされます。
(バンドごとに6局まで可能)
- メモリーが完了すると、周波数表示が1回点滅します。



自動メモリー (オートプリセットメモリー)

AUTO-P ボタンを **2 秒以上**押す。

- 現在受信しているバンド内で一番下の周波数から放送局を探し始め、受信状態の良い順にプリセット1 ~ 6 ボタンへ記憶されます。(バンドごとに6局まで可能)
- 終了すると、記憶された放送局が約5秒ずつ次々に呼び出されます。(スキャン)



※スキャンを解除するには
本体の **プリセット1 ~ 6 ボタン**の何れか一つを押して、聴きたい放送局を選ぶ。



お知らせ

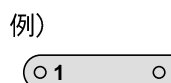
プリセットメモリーやオートプリセットメモリーをすると、前に記憶されていた放送局が消去され、新しい放送局を上書きします。

記憶させた放送局を呼び出す

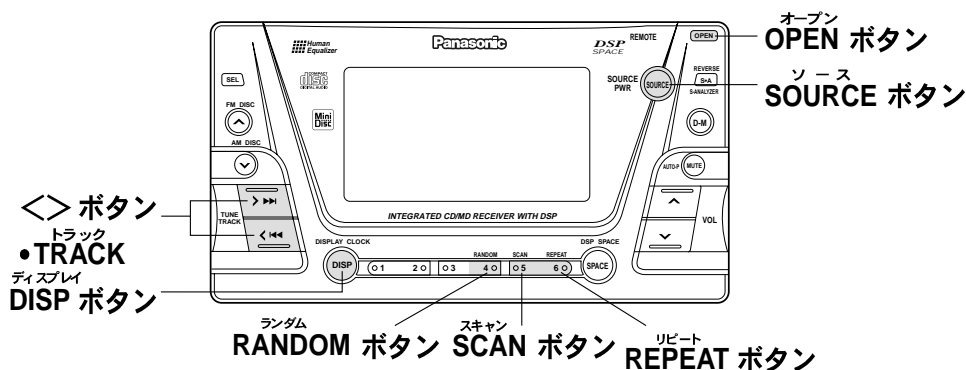
プリセット受信

本体の **プリセット1 ~ 6 ボタン**の何れか一つを押す。

- 現在のバンドで記憶されている放送局を呼び出して、受信します。

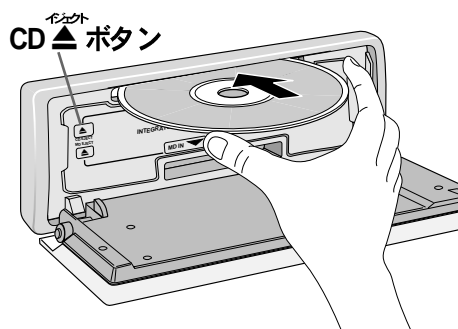


CDを聴く



CDを入れる

- ① 本体の **OPEN** ボタンを押す。
パネルが開きます。
- ② ラベル面を上側にして、CDを挿入口に差し込む。
CDの再生が始まります。
- ③ パネルを閉める。
パネルを押し上げて、戻す。



■ CDを取り出すには

- ① 本体の **OPEN** ボタンを押す。
- ② **CD ▲** ボタンを押す。
● CDモードのときに取り出すと、電源が切れます。

お願い

- CDの挿入口に、MDを入れしないでください。
- パネルの開閉を妨げないでください。
- 開いたパネルの上に物を置いたり、無理な力をかけたりしないでください。

音源（ソース）を「CD」にする

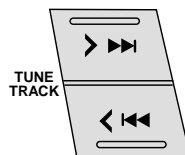
SOURCE ボタンを押す。



聴きたい曲を選ぶ

<> ボタンを押す。

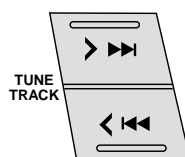
- < (TRACK <) : 現在再生している曲から順に、前の曲を頭出しする。
- > (TRACK >) : 次の曲を頭出しする。



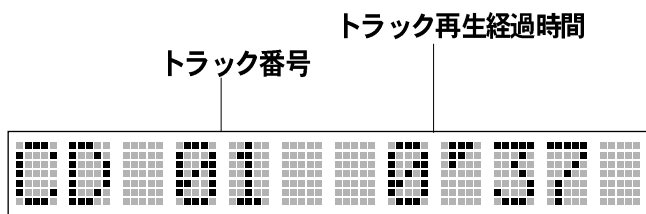
早戻し/早送りをする

<> ボタンを0.5秒以上押して、聴きたいところではなす。

- < (TRACK <) : 早戻しする。
- > (TRACK >) : 早送りする。



0.5 秒以上押す



表示例) 通常表示

表示を切り替えるには
→ DISPを押す (P.15 参照)

「ディスクの取り扱いについて」(P.38ページ)をよくお読みください。

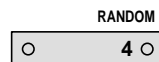
- 特殊形状のCDやCDアクセサリは使用しない
- シール・ラベル・テープなどを貼り付けたCD (特に市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたCD-R) は使用しない。

順不同で曲を聴く

ランダムプレイ

現在再生しているディスクの中から、規則性のない順番で再生されます。

本体の **RANDOM** ボタンを押す。(再度押すと、解除)



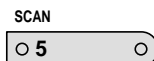
聴きたい曲を探す

スキャンプレイ

現在再生している曲の次から、ディスクの全曲が、約10秒ずつ再生されます。

本体の **SCAN** ボタンを押す。(再度押すと、解除)

- 一周するとスキャンを終了し、もとの曲の始めに戻ります。
- 聴きたい曲が見つかったときは、スキャンを解除してください。



同じ曲をくり返し聴く

リピートプレイ

現在再生している曲が、くり返して再生されます。

本体の **REPEAT** ボタンを押す。(再度押すと、解除)



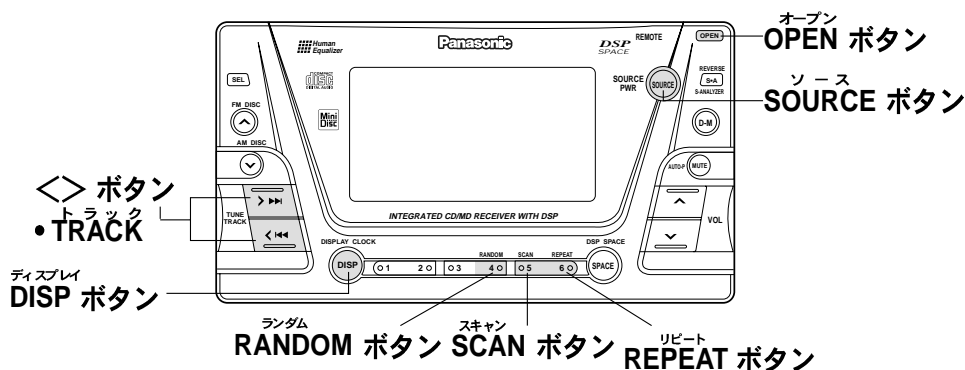
⚠ 注意



可動部やディスク挿入口に手・指を入れない

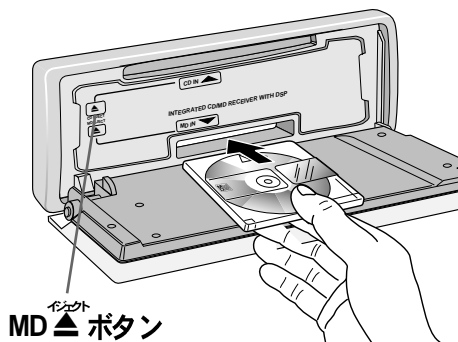
手や指を挟まれるなど、けがの原因になることがあります。
特に乳幼児にご注意ください。

MDを聴く



MDを入れる

- ① 本体の OPEN ボタンを押す。
パネルが開きます。
- ② ラベル面を上側にして、MDを挿入口に差し込む。
MDの再生が始まります。
- ③ パネルを閉める。
パネルを押し上げて、戻す。



お願い

- MDの挿入方向と表裏をご確認ください。無理に挿入すると、故障の原因になります。
- パネルの開閉を妨げないでください。
- 開いたパネルの上に物を置いたり、無理な力をかけたりしないでください。

■ MDを取り出すには

- ① 本体の OPEN ボタンを押す。
- ② MD ▲ ボタンを押す。
● MDモードのときに取り出すと、電源が切れます。

音源 (ソース) を「MD」にする

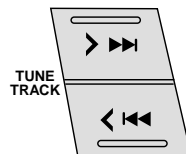
SOURCE ボタンを押す。



聴きたい曲を選ぶ

<> ボタンを押す。

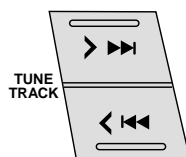
- < (TRACK <) : 現在再生している曲から順に、前の曲を頭出しする。
- > (TRACK >) : 次の曲を頭出しする。



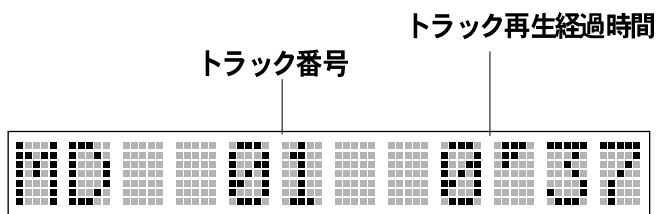
早戻し/早送りをする

<> ボタンを0.5秒以上押して、聴きたいところではなす。

- < (TRACK <) : 早戻しする。
- > (TRACK >) : 早送りする。



0.5秒以上押す



表示例) 通常表示

表示を切り替えるには
(MDタイトル情報も表示できます)
→ DISPを押す (P.15 参照)

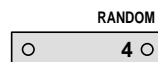
MDLP (長時間再生) 機能には、
対応しておりません。

順不同で曲を聴く

ランダムプレイ

現在再生しているディスクの中から、規則性のない順番で再生されます。

本体の RANDOM ボタンを押す。(再度押すと、解除)



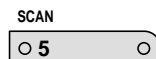
聴きたい曲を探す

スキャンプレイ

現在再生している曲の次から、ディスクの全曲が、約10秒ずつ再生されます。

本体の SCAN ボタンを押す。(再度押すと、解除)

- 一周するとスキャンを終了し、もとの曲の始めに戻ります。
- 聴きたい曲が見つかったときは、解除してください。



同じ曲をくり返し聴く

リピートプレイ

現在再生している曲が、くり返して再生されます。

本体の REPEAT ボタンを押す。(再度押すと、解除)



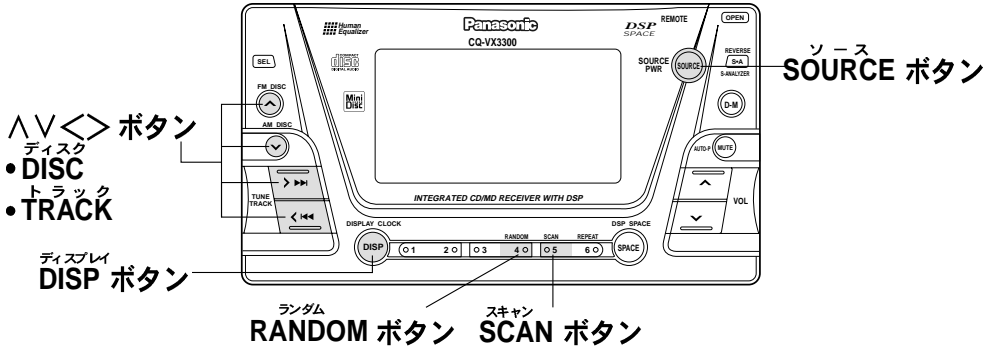
⚠ 注意



可動部やディスク挿入口に手・指を入れない

手や指を挟まれるなど、けがの原因になることがあります。
特に乳幼児にご注意ください。

チェンジャー (別売) でCD/MDを聴く



別売のCDチェンジャー (CX-DP1205D等) や MDチェンジャー (CX-MD6D) を接続してください。

音源 (ソース) を「CHANGER」にする

SOURCE ボタンを押す。



お知らせ

- マガジンの中にディスクが1枚も入っていないときは，“NO DISC”と表示されます。
- チェンジャーにマガジン (ディスク) を入れると
→本機の電源が入ります。(ソースが「CHANGER」に切り替わる)

聴きたいディスクを選ぶ

△▽ボタンを押す。

- △ (DISC △) : 次のディスクに替わる。
- ▽ (DISC ▽) : 前のディスクに替わる。

FM DISC



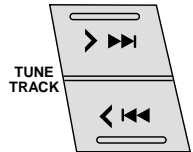
AM DISC



聴きたい曲を選ぶ

<>ボタンを押す。

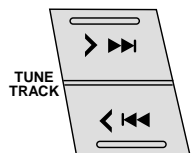
- < (TRACK <) : 現在再生している曲から順に、前の曲を頭出しする。
- > (TRACK >) : 次の曲を頭出しする。



早戻し/早送りをする

<>ボタンを0.5秒以上押して、聴きたいところではなす。

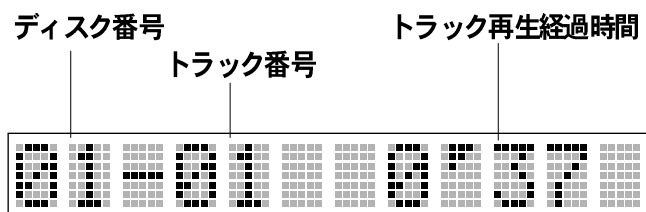
- < (TRACK <) : 早戻しする。
- > (TRACK >) : 早送りする。



0.5 秒以上押す

接続可能なCD/MDチェンジャーは、下記の機種です。(2001年4月現在)

- CDチェンジャー：CX-DP801 / DP650 / DP600 / DP1205 / 1203 D
- MDチェンジャー：CX-MD6D



表示例) 通常表示

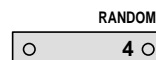
表示を切り替えるには
(MDは、タイトル情報も表示できます)
→ DISPを押す (P.15 参照)

順不同で曲を聴く

トラックランダムプレイ

チェンジャー内の全ディスクの中から、規則性のない順番で再生されます。

本体の RANDOM ボタンを押す。(再度押すと、解除)



ディスクランダムプレイ

現在再生しているディスクの中から、規則性のない順番で再生されます。

本体の RANDOM ボタンを2秒以上押す。(再度2秒以上押すと、解除)



2秒以上押す

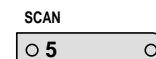
聴きたい曲やディスクを探す

トラックスキャンプレイ

現在再生している曲の次から、ディスクの全曲が、約10秒ずつ再生されます。

本体の SCAN ボタンを押す。(再度押すと、解除)

- 一周すると解除され、もとの曲の始めに戻ります。
- 聴きたい曲が見つかったときは、解除してください。

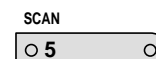


ディスクスキャンプレイ

現在再生しているディスクの次から、チェンジャー内の全ディスクの1曲目だけが、約10秒ずつ再生されます。

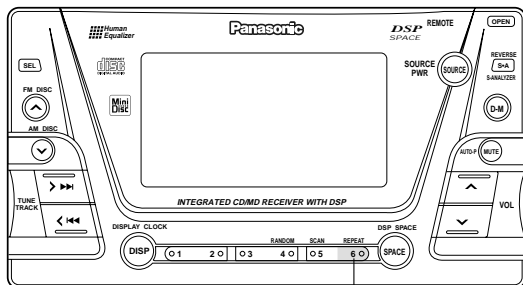
本体の SCAN ボタンを2秒以上押す。(再度2秒以上押すと、解除)

- 一周すると解除され、もとのディスクの始めに戻ります。
- 聴きたいディスクが見つかったときは、解除してください。



2秒以上押す

チェンジャー (別売) でCD/MDを聴く (つづき)



リピート
REPEAT ボタン

同じ曲やディスクをくり返し聴く

トラックリピートプレイ

現在再生している曲が、くり返して再生されます。

本体の REPEAT ボタン を押す。 (再度押すと、解除)



ディスクリピートプレイ

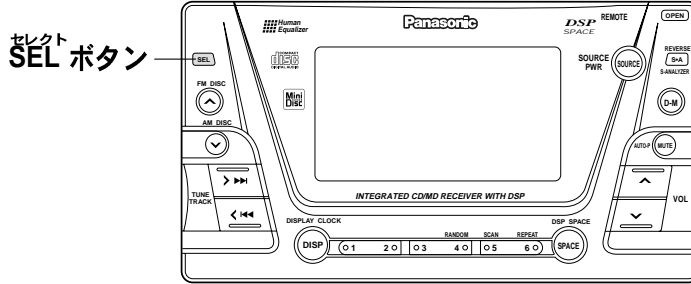
現在再生しているディスクが、くり返して再生されます。

本体の REPEAT ボタン を 2 秒以上押す。 (再度2秒以上押すと、解除)



2 秒以上押す

サウンド・音場を設定する



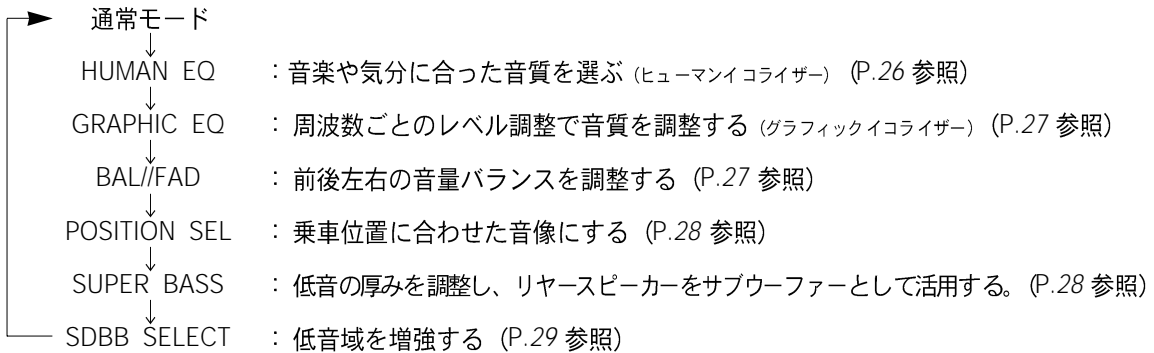
サウンド設定の項目を選ぶ

サウンドコントロール

SEL ボタンを押して、項目を選ぶ。

- 押すごとに、次のように切り替わります。

SEL

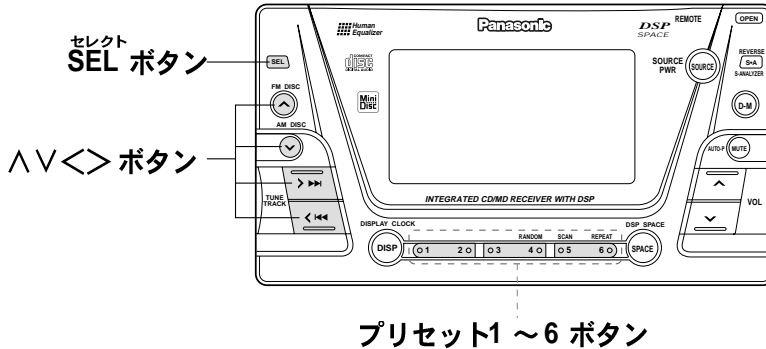


各々の項目の設定は、P.26～29をご覧ください。

お知らせ

- 約10秒間何も操作をしないと、通常モードに戻ります。
- 操作を途中でやめるには → DISPボタンを押す。

サウンド・音場を設定する (つづき)

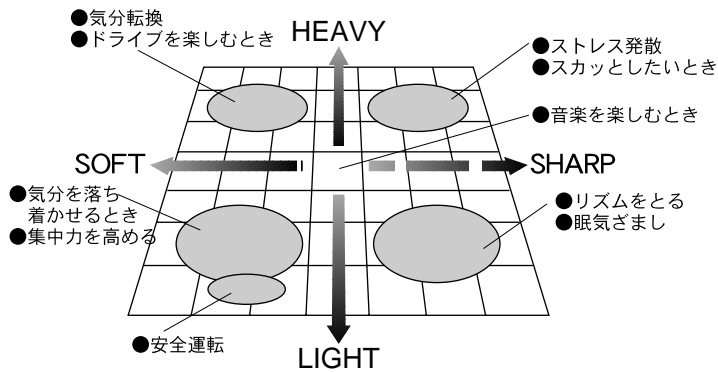


●音楽や気分にあった音質を選ぶ (ヒューマンイコライザー)

HEQ

音楽のジャンルや自分の気分にあった音質を設定してください。

(縦軸：低音域の豊かさ，横軸：高音域の明快さ) [初期設定：FLAT (0)，調整範囲：各1~3 (49パターン)]



① SEL ボタンを押して「HUMAN EQ」を選ぶ。(P. 25 参照)

② ▲▼<> ボタンを押して，調整する。

- ▲ (HEAVY) : 豊かな低音に変化する。
- ▼ (LIGHT) : 軽快な低音に変化する。
- < (SOFT) : 柔らかな高音に変化する。
- > (SHARP) : 歯切れのよい高音に変化する。

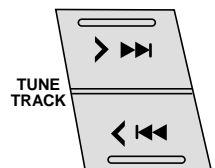
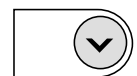
● HEQ 表示部の中でカーソルが移動し，調整した位置で点滅します。

SEL

FM DISC



AM DISC



● 周波数ごとのレベル調整で音質を設定する (グラフィックイコライザー)

G E Q

- ① SEL ボタンを押して「GRAPHIC EQ」を選ぶ。(P.25 参照)

[初期設定：各周波数 0 dB, 調整範囲：-12 dB ~ +12 dB (2 dBごと)]

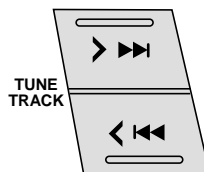
SEL

- ② > ボタンを押して、周波数を選ぶ。(< ボタン：逆回り)

80 → 160 → 320 → 640 → 1.6 k → 4 k → 10 k (Hz)



- カーソルが左右方向に移動し、選択している周波数が点滅します。



- ③ ▲ ▼ ボタンを押して、レベルを調整する。

▲：レベルが上がる。

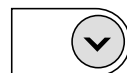
▼：レベルが下がる。

- カーソルが上下方向に移動し、調整したレベルで点滅します。

FM DISC



AM DISC



- ※ ②③を繰り返して、各周波数のレベルを設定する。

調整した音質を記憶する

本体のプリセット1～6 ボタンの何れか一つを、2秒以上押す。

- 現在のGEOQカーブ特性が、押したボタンに記憶されます。
- 記憶が完了すると、プリセットメモリー番号の表示が1回点滅します。

例)



2秒以上押す

お知らせ

前に記憶されていたGEOQカーブ特性を消去し、新しいGEOQカーブが上書きされます。

記憶した音質を呼び出す

- ① SEL を押して「GRAPHIC EQ」を選ぶ。(P.25 参照)

- ② 本体のプリセット1～6 ボタンの何れか一つを押す。

- メモリーされているGEOQカーブ特性を呼び出します。

例)



● 前後左右の音量バランスを調整する

バランス/フェダー

[初期設定：CNT (センター), 設定範囲：各15]

- ① SEL ボタンを押して「BAL//FAD」を選ぶ。(P.25 参照)

- ② ▲ ▼ < > ボタンを押して、調整する。

▲ (FRONT)：前方を強調する。

▼ (REAR)：後方を強調する。

< (LEFT)：左側を強調する。

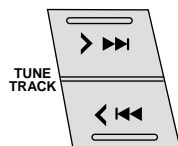
> (RIGHT)：右側を強調する。

SEL

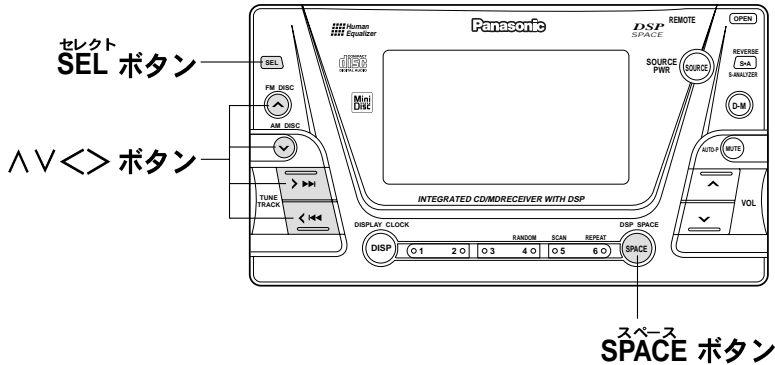
FM DISC



AM DISC



サウンド・音場を設定する (つづき)

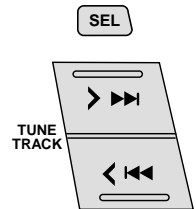


●乗車位置に合わせた音像にする

ポジション [初期設定：OFF]

- ① SEL ボタンを押して「POSITION SEL」を選ぶ。(P.25 参照)
- ② >ボタンを押して、設定する。(＜ボタン：逆回り)

OFF (全席) → RIGHT (前席右) → LEFT (前席左)
 ↑ ↓
 REAR (後席) ← FRONT (前席)

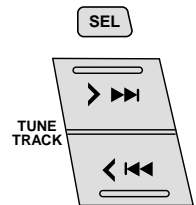


●低音の厚みを調整し、リヤスピーカーをサブウーファーとして活用する

スーパーベースコントロール・サブウーファー (SBC-SW) [初期設定：SBC-SW OFF]

- ① SEL ボタンを押して「SUPER BASS」を選ぶ。(P.25 参照)
- ② >ボタンを押して、設定する。(＜ボタン：逆回り)

▶ SBC-SW OFF : ステレオ出力
 ↓
 SBC-SW FLAT : 高音域をカットしない (モノラル出力)
 ↓
 SBC-SW 100Hz : 100Hz以上の高音域をカットする (モノラル出力)
 ↓
 SBC-SW 150Hz : 150Hz以上の高音域をカットする (モノラル出力)
 ↓
 SBC-SW 200Hz : 200Hz以上の高音域をカットする (モノラル出力)



お知らせ

- SBC-SWの設定は、プリアウト (リヤ) にも連動します。
- 別売の外部アンプに内蔵されたカットオフ周波数調整機能を使用する場合は、本機のSBC-SWの設定を「FLAT」にしてください。

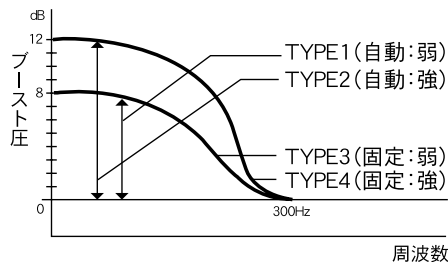
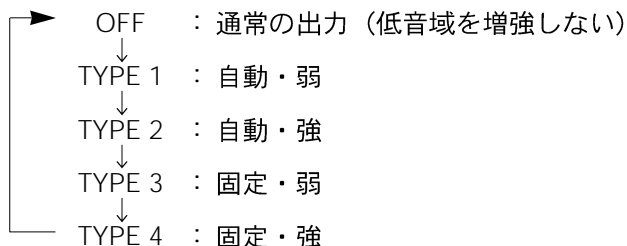
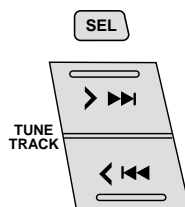
●低音域を増強する

スーパーダイナミックバスブースト (SDBB)

[初期設定：SDBB OFF]

内蔵アンプ接続の4スピーカーから出力される低音域を増強して、重低音が楽しめます。

- ① SEL ボタンを押して「SDBB SELECT」を選ぶ。(P.25 参照)
- ② > ボタンを押して、設定する。(< ボタン：逆回り)



自動：低音を音量レベルに合わせて自動的に増強する。バランスよい低音になる。

固定：低音を設定された幅で増強する。迫力のある低音になる。

音場を再現する

SPACE (スペース)

[初期設定：SPACE OFF]

実際に演奏会場にいるような音場 (スペース) を車室内に再現できます。

SPACE ボタンを押す。

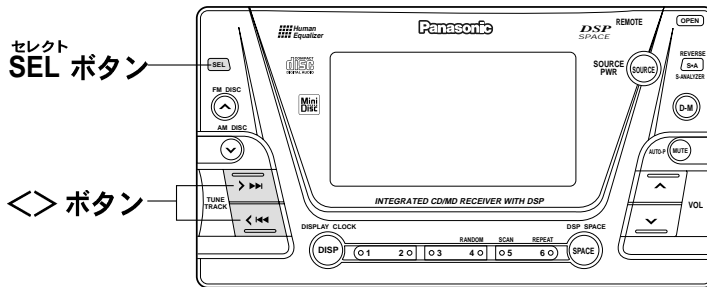
- 押すごとに、次のように切り替わります。



DSP SPACE



その他の機能を設定する

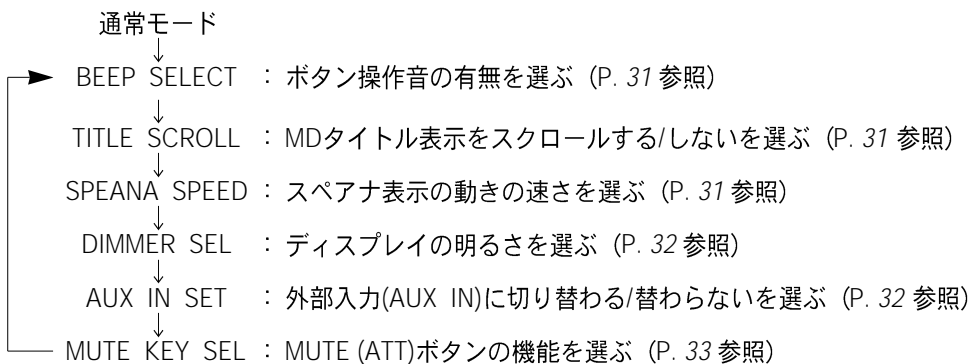


設定する機能を選ぶ

機能コントロール

SEL ボタンを2秒以上押し、
再度 SEL ボタンを押して項目を切り替える。

- 押すごとに、次のように切り替わります。



SEL

2秒以上押しして
↓
再度押す

各々の項目の設定は、P.31～33をご覧ください。

お知らせ

- 約10秒間何も操作をしないと、通常モードに戻ります。
- 操作を途中でやめるには → DISPボタンを押す。

● ボタン操作音の有無を選ぶ

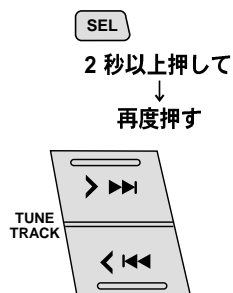
ビープ音

[初期設定：BEEP ON]

① SEL ボタンで「BEEP SELECT」を選ぶ。(P.30 参照)

② >ボタンを押して、切り替える。(<ボタン：逆回り)

- ▶ BEEP ON : 操作音が出る。(ビープ音)
- ↓
- ▶ BEEP OFF : 操作音をなくす。(出なくなる)



● MDタイトル表示をスクロールする/しないを選ぶ

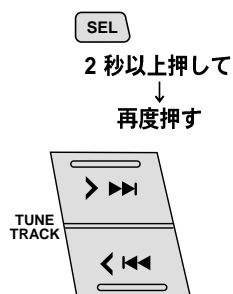
タイトルスクロール

[初期設定：SCROLL ON]

① SEL ボタンで「TITLE SCROLL」を選ぶ。(P.30 参照)

② >ボタンを押して、切り替える。(<ボタン：逆回り)

- ▶ SCROLL ON : 表示が連続してスクロールする。
- ↓
- ▶ SCROLL OFF : 表示が一周スクロールしたあと、静止する。



お知らせ

MDタイトルスクロールが“OFF”のときにDISP ボタンを2秒以上押すと、一周だけスクロールすることができます。(再スクロール)

● スペアナ表示の動きの速さを選ぶ

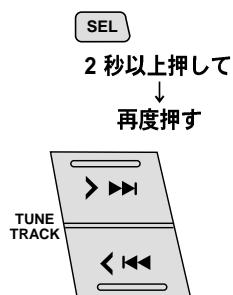
スペアナスピード

[初期設定：SPEANA FAST]

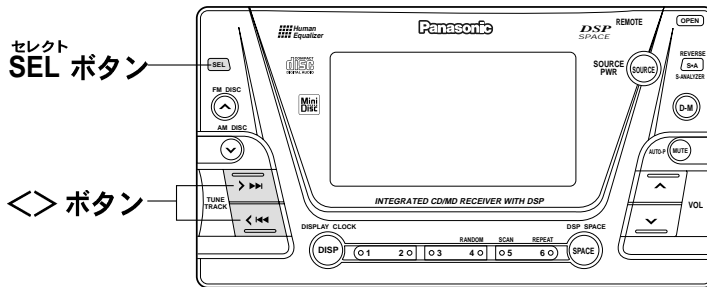
① SEL ボタンで「SPEANA SPEED」を選ぶ。(P.30 参照)

② >ボタンを押して、切り替える。(<ボタン：逆回り)

- ▶ SPEANA FAST : スペアナ表示の動きが速くなる。
- ↓
- ▶ SPEANA SLOW : スペアナ表示の動きが遅くなる。



その他の機能を設定する (つづき)



●ディスプレイの明るさを選ぶ

ディマー

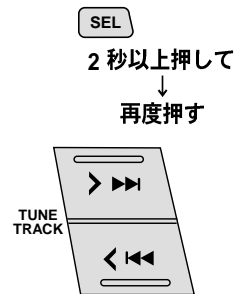
[初期設定：ライトON時 ... MID, ライトOFF時 ... HIGH]

車のライトのON/OFFと連動します。

- ① SEL ボタンで「DIMMER SEL」を選ぶ。(P.30 参照)

- ② > ボタンを押して、切り替える。(< ボタン：逆回り)

▶ DIMMER HIGH : 明るくなる
 ↓
 DIMMER MID : 中間の明るさになる
 ↓
 DIMMER LOW : 暗くなる



お知らせ

リモコンは、DIMMERボタンを2秒以上押すごとに切り替わります。

●外部入力(AUX IN)に切り替わる/替わらないを選ぶ

AUX IN 設定

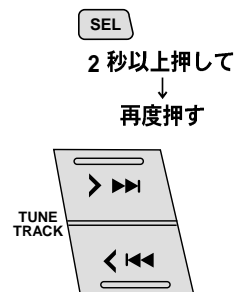
[初期設定：AUX IN ON]

外部入力をご使用にならないときは、ソースを選ぶときに AUX IN へ切り替わらないよう設定できます。

- ① SEL ボタンで「AUX IN SET」を選ぶ。(P.30 参照)

- ② > ボタンを押して、切り替える。(< ボタン：逆回り)

▶ AUX IN ON : SOURCE ボタンで、AUX IN へ切り替わる。
 ↓
 AUX IN OFF : SOURCE ボタンで、AUX IN へ切り替わらない。



●MUTE(ATT)ボタンの機能を選ぶ

MUTE ボタン設定

[初期設定 : MUTE KEY]

MUTE (ATT) ボタンを押したときの音量の下がりがたを選んでください。

① SEL ボタンで「MUTE KEY SEL」を選ぶ。(P.30 参照)

SEL

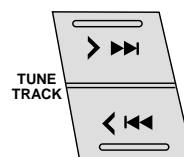
2 秒以上押して

再度押す

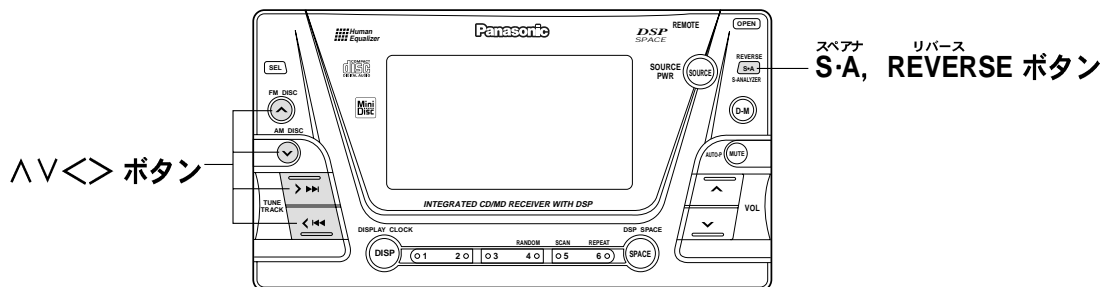
② > ボタンを押して、切り替える。(< ボタン : 逆回り)

▶ MUTE KEY : 音量の下がりがたが、0 (無音) になる。⟨MUTE⟩

└─┬ ATT KEY : 音量の下がりがたが、約 1/10 になる。⟨ATT⟩



便利な機能



スペアナ表示を切り替える

スペアナ表示 [初期設定：WAVE]

S-A ボタンを押す。

- 押すごとに、次のように切り替わります。(13種類)



- ① WAVE : スペースファンタジーの幕開けを予感させるシンプルなスペアナ。
- ↓
- ② AURORA : 天にかかるオーロラのイメージ。
- ↓
- ③ MILKY WAY : 宇宙空間に流れる雄大な天の川をイメージ。
- ↓
- ④ TWINKLE STAR : 無数の星の瞬く瞬間をイメージ。
- ↓
- ⑤ SUN : サンサンと降りそそぐ暖かさをイメージ。
- ↓
- ⑥ SPC SARGASSO : 漂流する星のかけらの果てしない旅をイメージ。
- ↓
- ⑦ BIG BANG : 宇宙創世。星の誕生をイメージ。
- ↓
- ⑧ FLARE : 太陽から宇宙空間へのエネルギー解放現象をイメージ。
- ↓
- ⑨ PROMINENCE : 太陽の表面で燃え上がる炎をイメージ。
- ↓
- ⑩ METEOR : 無限に広がる宇宙空間を駆け巡る、流星群をイメージ。
- ↓
- ⑪ SPACE FEVER : ある周波数の一定のレベルをキャッチすると、スロットがフィーバー目指して回る。
- ↓
- ⑫ BLANK SPEANA : スペアナ表示だけを消灯する。
- ↓
- ⑬ ALL DISP OFF : ディスプレイ全体を消灯する。
 - 操作をすると点灯し、操作を終えたあと（約5秒後）に再び消灯します。

お知らせ

文字部のドットスペアナ表示は、表示パターンの切り替えやアレンジができません。

スペアナ表示をアレンジする

スペアナリバース

[初期設定：NORMAL / SPEANA POSI]

それぞれのスペアナ表示ごとに、色調や動きのパターンを8通りに変化させることができます。(スペアナ表示①～⑪のみ)

① 本体の REVERSE ボタンを2秒以上押して、

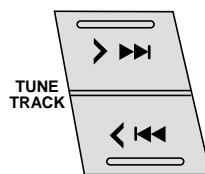
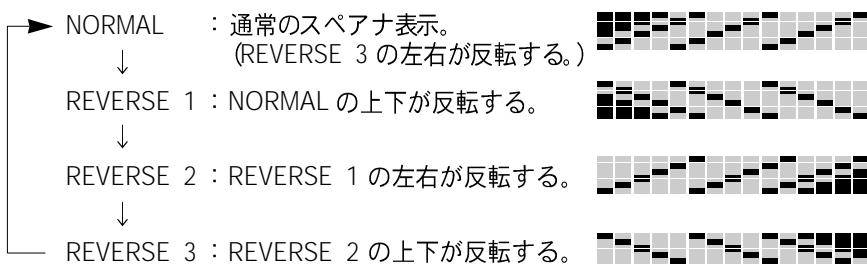


2秒以上押す

② \wedge \vee \langle \rangle ボタンで、切り替える。

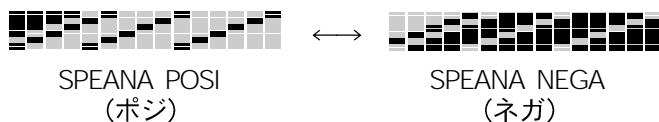
■ 方向転換させる

\rangle ボタンを押す。(\langle ボタン：逆回り)



■ ネガとポジを反転させる

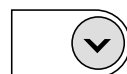
\wedge \vee ボタンを押す。



FM DISC



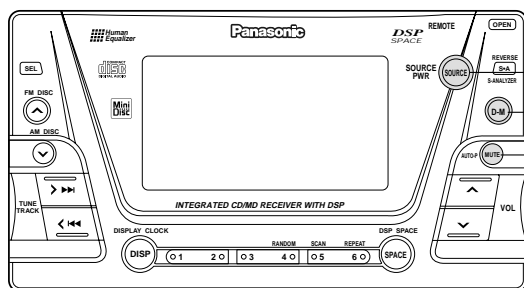
AM DISC



お知らせ

- 約10秒間何も操作をしないと、通常モードに戻ります。
- 文字部のドットスペアナ表示は、表示パターンの切り替えやアレンジができません。

便利な機能 (つづき)

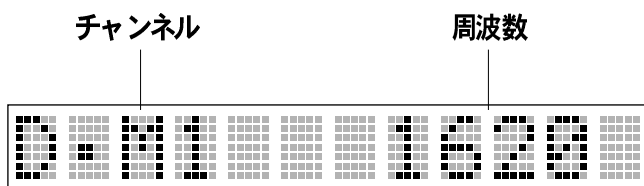


ソース
SOURCE ボタン
ダイレクトメモリー
D-M ボタン
ミュート アッテネータ
MUTE (ATT) ボタン

交通情報を受信する

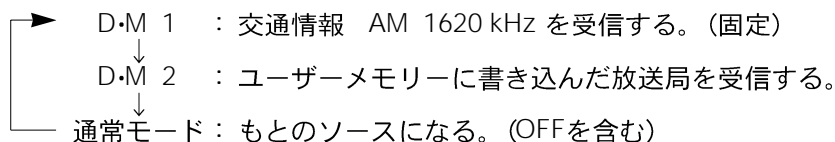
ダイレクトメモリー (D-M)

交通情報とメモリーさせた好みの放送局を、ボタン1つで簡単に受信します。電源が切れているときや、ラジオ以外のソースのときでもワンタッチで放送を受信します。



本体の D-M ボタンを押す。

- 押すごとに次のように切り替わります。



D-M 2 (ユーザーメモリー) に好みの放送局を書き込む

① 好みのバンドと放送局を選ぶ。(P.16 参照)

② 本体の D-M ボタンを2秒以上押す。

- 現在受信している放送局が、D-M 2 にメモリーされます。



2 秒以上押す

お知らせ

- D-M 1 は AM 1620 kHz に固定されているので、書き込めません。
- D-M 2 (ユーザーメモリー) の初期設定は、AM 1620 kHz になっています。
- D-M モード中はサウンド・音場等の設定変更ができません。

一時的に音量を下げる

ミュート/アッテネータ [初期設定：MUTE OFF]

MUTE (ATT) ボタンを押すと、一時的に本機の音量が下がります。音量の下がりかたは、設定 (MUTE または ATT) によって異なります。(P.33 参照)

MUTE (ATT) ボタンを押す。(再度押すと、解除)



●設定がMUTEの場合

MUTE OFF : 通常の音量。



MUTE ON : 本機の音量が0 (無音) になる。

●設定がATTの場合

ATT OFF : 通常の音量。



ATT ON : 本機の音量が約 1/10 に下がる。

- ミュート/アッテネータが「ON」のときは、MUTEインジケーターが点滅します。

外部機器の音声を聴く

AUX IN

後面のAUX-IN (AUX 入力端子) に外部機器を接続してください。(P.44 参照)

SOURCE ボタンを押して、「AUX IN」にする。

各々の外部機器で操作します。詳細は、取扱説明書をご参照ください。



ブラックライトでパネルの色の变化を楽しむ

ブラックライトは、別途購入・取り付けが必要です。

ブラックライトをあてるとパネル全体が鮮やかなディープブルーに光り、浮かび上がります。

お願い

ブラックライトを取り付けるときは、本機から 20cm 以上離してください。ラジオのノイズや誤動作の原因になります。

ディスクの取り扱いについて

CD (コンパクトディスク)

■ 使用できるCD



のマークが入っているものを、ご使用ください。

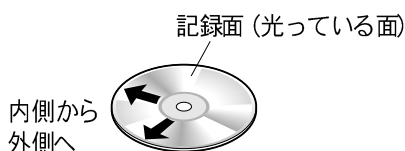
■ 持ちかた

ディスクのセンターホールと外周部分を持ってください。



■ CDが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭いてください。



■ 取り扱いのお願い

CDそのものの破損、および機器の故障の原因になることがありますので、次のことをお守りください。

- 記録面に手を触れない
- CDが回転する方向に拭かない
- ベンジン、シンナー、レコードクリーナー、静電防止剤で拭かない
- CDを曲げない、キズを付けない
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない

⚠ 注意

特殊形状のCDやCDアクセサリは使用しない



ハート型や八角形など特殊形状のCDや、プロテクトフィルム・スタビライザーなどのCDアクセサリを使用すると、故障の原因になります。

シール・ラベル・テープなどを貼り付けたCDは使用しない



本機の中で引っかかるなど、故障の原因になることがあります。特に、市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたCD-Rは使用しないでください。

CD-Rディスクのご使用について

再生可能なCD-Rディスクは、通常の音楽CDの形式(CD-DA)で録音されたディスクに限ります。

- CD-RW、CDテキスト、ビデオCD、CD-EXTRA、CD-ROM、MP3ファイルなどは再生できません。
- CDレコーダー(CD-Rドライブ)で記録したCD-Rディスクは、その特性・汚れ・指紋・キズなどにより、再生できない場合があります。
- CD-Rディスクは通常の音楽CDに比べ高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- CD-Rディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。
- ファイナライズ処理されていないCD-Rディスクは再生できません。
- ディスクの一番最初のデータがCD-DAでない場合は、再生できません。

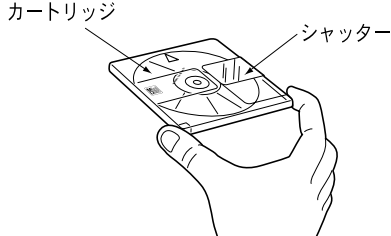
MD（ミニディスク）

■ 使用できるMD

録音済みの音楽用MDをご使用ください。
MDLP（長時間再生）機能には、対応していません。

■ MDが汚れたら

カートリッジの表面に汚れやゴミがついたときは、乾いた布で拭いてください。



■ 取り扱いのお願い

MDそのものの破損、および機器の故障の原因になることがありますので、次のことをお守りください。

- シャッターを開けない
無理に開けると破損することがあります。
中の円盤には、直接手を触れないでください。
- 指定外の場所にラベルを貼らない
- ラベルのはがれかかったMDは使用しない
本機の中で引っかかり、故障の原因になります。

ディスクの保管について

長時間使用しないときは

- 必ず本機から取り出してください。
- ゴミ・ほこりなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

次のような場所に置かないでください。

- 長時間直射日光のあたるところ（車のシート、ダッシュボードの上など）
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 暖房器具の熱が直接あたるところ

故障かな!?

ご確認ください

■ 共通

症 状	原 因	確 認 ・ 処 置	参照ページ
電源が入らない。	車のエンジンスイッチが入っていない。	車のエンジンをかけてください。(「ACC ON」の位置でも可)	12
	各コードが正しく接続されていない。	各コードを正しく接続してください。	44~45
	バッテリー電源コードが正しく接続されていない。	バッテリー電源コードを、常時通電している端子に接続してください。	45
	アクセサリ電源コードが正しく接続されていない。	アクセサリ電源コードを、車のACC電源に接続してください。	45
	アースコードが正しく接続されていない。	アースコードを、車体の金属部に接続してください。	45
	ヒューズが切れている。	お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)にヒューズの交換をご依頼ください。	—
音が出ない。	音量が下がっている	音量を上げてください。	12
	各コードが正しく接続されていない。	各コードを正しく接続してください。	44~45
	ミュートが「ON」になっている。	「OFF」にしてください。	37
	結露している。	しばらく放置してからご使用ください。	—
ボタン操作ができない。	デモモードになっている。	デモモードを解除してから操作してください。	12
時計が調整できない。	電源が入っていない。	PWRボタンを押して、電源を入れてから調整してください。	12
雑音が出る。	携帯電話が本機の近くにある。	携帯電話の位置や向きを調整し、本機から離してください。	—

■ ラジオ

症 状	原 因	確 認 ・ 処 置	参照ページ
FMステレオ放送, モノラル放送ともノイズが多い。	放送局が遠かったり, 放送電波が弱い。	電波の強い他の放送局を選局してください。	16
プリセットしたはずの放送局が, 解除されている。	バッテリー電源コードが正しく接続されていない。	バッテリー電源コードを, 常時通電している端子に接続してください。	45

■ CD / MD

症 状	原 因	確 認 ・ 処 置	参照ページ
CD/MDを挿入しても音が出ない。	CD/MDが裏返し。	ラベル面を上側にして, 正しい方向で入れてください。	18, 20
	MDの挿入方向が違う。		
	MDLPモードで録音したMDである。	MDLP (長時間再生) モードでないMDをご使用ください。	39
	CD/MDが汚れている。	“ディスクの取り扱い” の項をご参照のうえ, CD/MDのクリーニングをしてください。	38~39
	データ用MDまたはブランクMDである。	音楽用MDまたは音楽が録音されているMDをご使用ください。	39
CD/MDの音かとぶ。音質が悪い。	CD/MDが汚れている。	“ディスクの取り扱い” の項をご参照のうえ, CD/MDのクリーニングをしてください。	38~39
振動により音かとぶ。	取り付け角度が30° を超えている。	取り付け角度を30° 以内に調整してください。	46
	取り付けかたが不安定。	“取り付けのしかた” を参考にして, 本機と取り付け金具などをしっかり固定してください。	46
CD/MDがイジェクトしない。	<ul style="list-style-type: none"> ● CD/MDの不良。 ● メカの不良。 	イジェクトボタンを押してください。それでも正常に戻らない場合は, お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」(別紙) に修理をご依頼ください。	18, 20 49

故障かな!? (つづき)

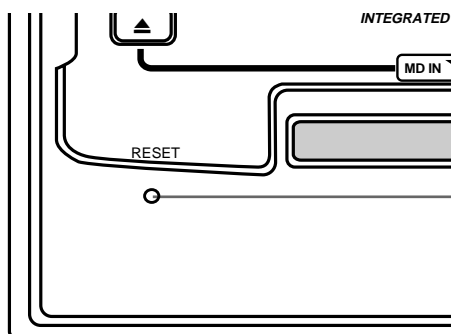
■ サウンド設定

症状	原因	確認・処置	参照ページ
左右前後の何れかの音が出ない。	左右前後のバランス調整が片方に寄っている。	BAL/FAD を適切に調整してください。	27
	各コードが正しく接続されていない。	各コードを正しく接続してください。	44~45
ステレオのとき、左右の音が逆になる。	スピーカーコードの接続が逆になっている。	スピーカーコードを正しく接続してください。	44~45
リヤースピーカーから低音、またはモノラル音声しか出ない。	SBC-SW が「OFF」以外に設定されている。	SBC-SW を「OFF」に設定してください。	28

■ リモコン

症状	原因	確認・処置	参照ページ
ボタンを押しても動作しない。	電池の極性(+)(-)が逆になっている。	電池を正しく入れてください。	9
	電池の種類が正しくない。	電池を確認してください。	9
	電池が消耗している。	電池を交換してください。	9
	リモコンの方向が正しくない。	本体の REMOTE (リモコン受光部) に向けて操作してください。	10

リセットについて



お願い

どのボタンを押しても動作しない場合に、リセットしてください。
それでも正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理をご依頼ください。

リセットスイッチ

この穴に折れない細い棒などを入れて、スイッチを押す。

- 回復後、初期の状態に戻ります。
記憶した内容や設定が解除されますので、ご注意ください。

万一、異常（ヒューズの溶断など）が起こったら

すぐに電源を切ってください。

煙が出ていないこと・熱くないことを確認してから電源接続をはずし、お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理をご依頼ください。お客様による修理やヒューズの交換は、危険ですから絶対におやめください。

こんな表示が出たら

■ CD/MD

表示例	原因	動作	確認・処置
CD - E1 - MD - E1 -	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクが汚れている、裏返しになっている。 ● 挿入したMDが、データ用または録音されていない。 	自動的に、ディスクが排出される。	ディスクを取り出して、ご確認ください。
CD - E2 - MD - E2 -	ディスクにキズがついている。		
CD - E3 - MD - E3 -	何らかの原因で動作しない。	—	イジェクトボタンを押してください。動作しないときは、リセットスイッチを押してください。それでも正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理をご依頼ください。
⊖ PLS EJECT ☐ PLS EJECT	イジェクト動作が完了していないときに、再生を始めようとした。	—	ディスクを取り出して、ご確認ください。

■ チェンジャー

表示例	原因	動作	確認・処置
CD CH - E1 - MD CH - E1 -	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクが汚れている、裏返しになっている。 ● 挿入したMDが、データ用または録音されていない。 	自動的に、次のディスクに替わる。	ディスクを取り出して、ご確認ください。
CD CH - E2 - MD CH - E2 -	ディスクにキズがついている。		
CD CH - E3 - MD CH - E3 -	何らかの原因で動作しない。	—	チェンジャーのイジェクトボタンを押してください。動作しないときは、チェンジャーのリセットスイッチを押してください。それでも正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理をご依頼ください。
NO DISC	チェンジャー(マガジン)に、ディスクが1枚も入っていない。	—	チェンジャー(マガジン)に、ディスクを入れてください。

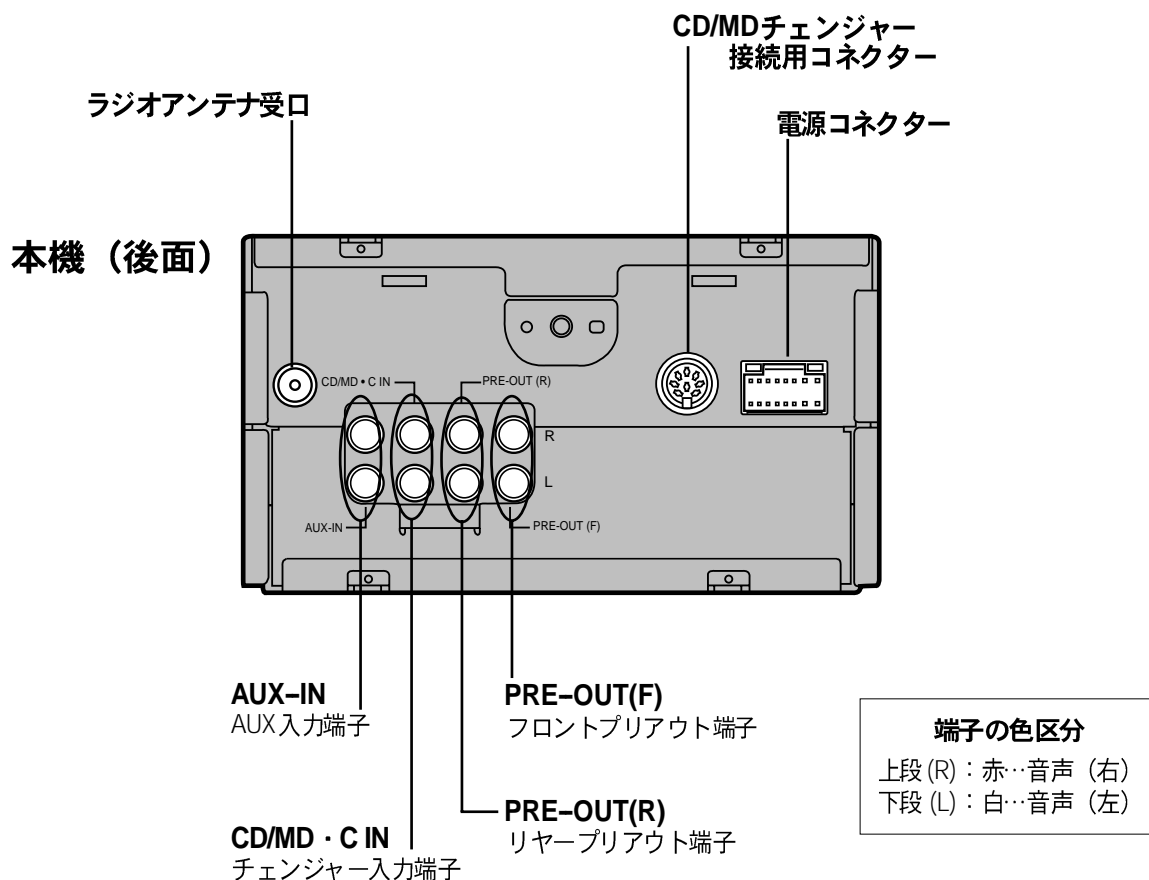
お知らせ

- E1, E2の前に、エラーとなっているディスク番号が表示されることがあります。
- チェンジャーによって表示内容や対応操作が一部異なります。詳細は、ご使用のチェンジャーの取扱説明書をご参照ください。

配線のしかた

- 配線については、各機器の取扱説明書をよくお読みください。
- スピーカーは各種とりそろえておりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

ドライブコンピューターやナビゲーションコンピューターが取り付けられている車では、バッテリーの端子をはずすとこれらのコンピューターのメモリーが消えてしまうことがありますので、ご注意ください。



⚠ 注意

配線・取り付けは、専門技術者に
依頼する



配線・取り付けには専門技術と経験が必要です。
安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

⚠ 警告

分解・修理、および改造をしない



分解禁止

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのはやめてください。火災・感電、故障の原因になります。

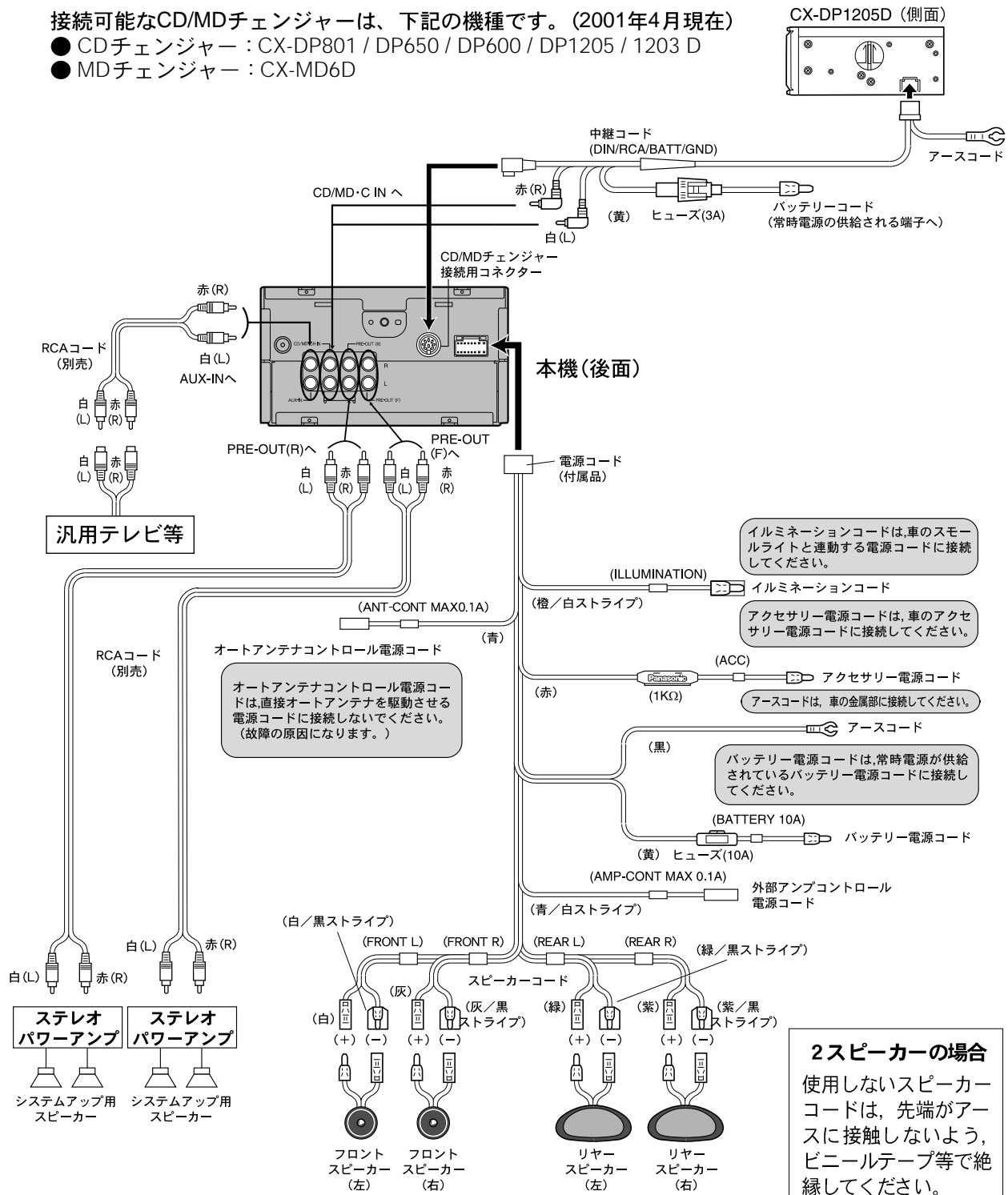
システムアップ例：8スピーカーの場合

CDチェンジャー (CX-DP1205D), 汎用テレビとの組み合わせ

接続可能なCD/MDチェンジャーは、下記の機種です。(2001年4月現在)

● CDチェンジャー：CX-DP801 / DP650 / DP600 / DP1205 / 1203 D

● MDチェンジャー：CX-MD6D



必要なときに

取り付けのしかた

⚠ 注意

取り付け・配線は専門技術者に依頼する



本機の実装、配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

取り付け用付属品

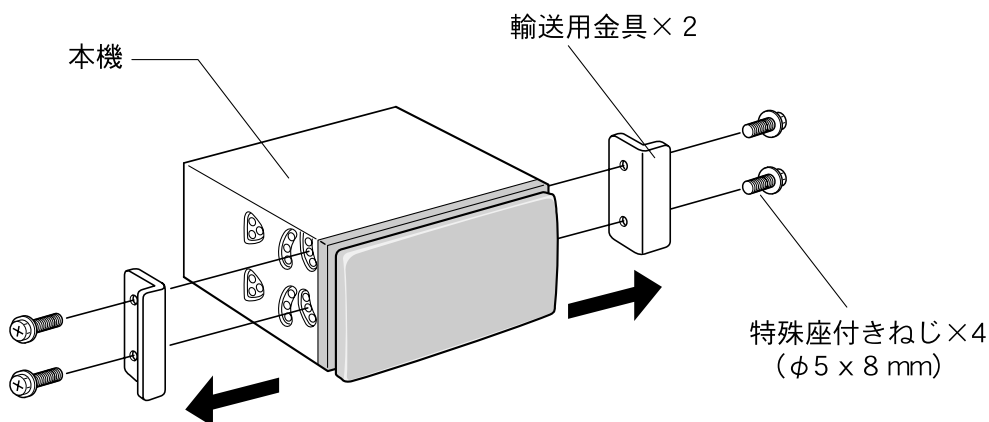
添付の袋には、下表の取り付け用部品が入っています。ご使用前に、よくお確かめください。

番号	品名	数量
①	特殊座付きねじ (φ 5×8 mm)	4
②	特殊皿ねじ (φ 5×8 mm)	8

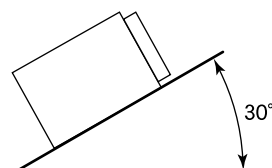
取り付けのお願い

取り付け前に必ず輸送用金具をはずしてください。

※特殊座付きねじ (φ 5×8 mm) 4本は、取り付けのときに使用します。紛失しないようご注意ください。

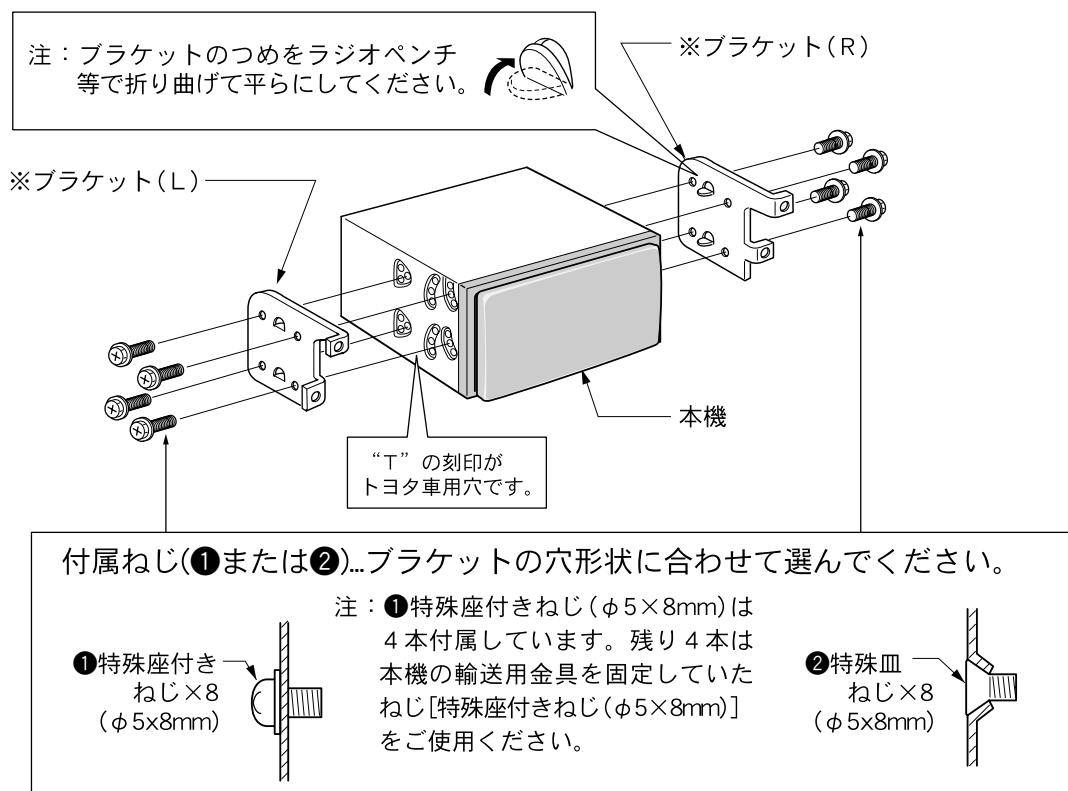


- 取り付ける場所によっては、本機のパネルがシフトレバー等にあたる場合もあります。販売店にご相談ください。
- 取り付けには、車両で使用されているブラケットをご使用ください。
- 本機の実装用の穴にはタップ加工がありません。付属のねじをまっすぐに押しながら締め付け、タップ加工をして取り付けてください。
- 本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して30度以内の角度で取り付けてください。



■ トヨタ車に取り付ける場合 (2DINサイズ採用車)

1. 車両からカーラジオ・小物入れを取りはずし、それらを止めているブラケットを取りはずします。
2. 付属ねじ①または②を使用して、本機にブラケットを取り付けます。
3. 本機を車両に取り付けます。



- 年式、車種、グレードにより、専用キット（別売）が必要な場合がありますので、別途販売店にご相談ください。
- なお、車両側との配線が容易にできる専用の中継コード（別売）が準備されておりますので、販売店にご相談のうえ、お買い上げください。

■ 日産車に取り付ける場合 (2DINサイズ採用車)

- 日産 2 DIN サイズ採用車専用に標準取り付けキット（別売）が準備されておりますので、別途販売店にご相談ください。
- なお、年式、車種、グレードにより専用キット（別売）が必要な場合もありますので、販売店にご相談のうえ、お買い上げください。

■ 上記以外の車に取り付ける場合

汎用（別売）または車種別に専用キット（別売）が準備されておりますので、別途販売店にご相談ください。

お知らせ

2 DIN サイズ採用車とは、オーディオスペースに幅 180 mm、高さ 100 mm のセットが搭載できる車です。

仕様

共通

電源電圧	: DC 12 V (試験電圧14.4 V) ⊖アース
消費電流	: 8.5 A以下 (CD動作定格出力時)
定格出力	: 16 W × 4 CH (1 kHz, 1%, 4 Ω)
最大出力	: 41 W × 4 CH
適合スピーカーインピーダンス	: 4 Ω
音声入力インピーダンス	: 10 kΩ
音声入力感度	: 2 V (AUX IN)
プリアウト出力電圧	: 2 V
プリアウト出力インピーダンス	: 600 Ω
外形寸法	: 幅 178 × 高さ 100 × 奥行き 160 (mm)
質量	: 2.3 kg

DSP部

チャンネル数	: 入力2チャンネル, 出力4チャンネル
スペースモード	: 7種類
イコライザー中心周波数	: 80, 160, 320, 640 Hz, 1.6, 4, 10 kHz
イコライザー可変範囲	: -12 dB ~ +12 dB (13段階)

チューナー (ラジオ) 部

FMチューナー部

受信周波数範囲	: 76.0 MHz ~ 89.9 MHz
実用感度	: 12 dBf
全高調波ひずみ率 (モノ)	: 0.3 % (1 kHz)
聴感補正SN比 (モノ)	: 70 dB
周波数特性	: 20 Hz ~ 15 kHz ±3 dB
分離度	: 42 dB (1 kHz)
実効選択度	: 75 dB

AMチューナー部

受信周波数範囲	: 522 kHz ~ 1 629 kHz
実用感度 (S/N 20dB)	: 27 dB/μV
イメージ妨害比	: 65 dB

CDプレーヤー部

チャンネル数	: 2チャンネル
複号化	: 16ビット直線
周波数特性	: 5 Hz ~ 20 kHz
信号対雑音比	: 90 dB (IHF, A)
ワウ・フラッタ	: 測定限界以下

MDプレーヤー部

周波数特性	: 5 Hz ~ 20 kHz
信号対雑音比	: 90 dB (IHF, A)
ワウ・フラッタ	: 測定限界以下

■本機は、ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

製品仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

アフターサービスについて

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

■ 修理を依頼される時

「故障かな!？」の項目に従ってご確認ください。直らないときは電源を切って、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お買い上げの販売店にご依頼にできない場合には、お近くの「ご相談窓口」（別紙）へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきます。恐れ入りますが、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。


■ 補修用性能部品の保有期間

本製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後6年保有しています。

修理・お取り扱いなどのご相談は…
お買い上げの販売店 または
お近くの「ご相談窓口」（別紙）へ

その他のお問い合わせは…
「お客様相談室」へ

お客様相談室

電話 フリーダイヤル  コーパソニック **0120-50-8729**
FAX **045-939-1939**

受付 9:00 ~ 17:00（土・日・祝日・弊社休日を除く）

A series of horizontal dashed lines for writing notes.

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お買い上げ日	年 月 日	品番	CQ-Y1680D
販売店名	☎ ()	—	
お客様 ご相談窓口	☎ ()	—	

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 カーシステム事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地